

平成24年度 施策評価表

分野名	第 6 章 みんなでつくる開かれたまち	作成日	平成25年8月5日
政策名	第 2 節 効率的な行政経営の推進	部局	市長公室
施策名	第 2 項 行政経営の推進	部局長	福井 常夫

主担当課	企画政策課	関係課	行政改革推進課
------	-------	-----	---------

1. 施策の基本方針

施策目的	市民満足の向上を図るため、市民ニーズの把握に努めるとともに、職員の意識改革を図り、目的と成果を明確にした透明性の高い行政経営、最小の経費で最大の効果をあげる行政経営を目指す。
------	---

2. 施策の現状分析

施策を取り巻く概況	市民ニーズ等	社会環境、国・県の動向等	
	厳しい財政状況の中、限られた経営資源を最大限に活用するため実施した行政活動を評価・改善するとともに、効果的・効率的な配分をしていく必要に迫られている。また、市政アンケート結果によると「財政の健全化・行政改革の推進」に関する市民の満足度スコアは-6.4%と低く、本市の効率化の取組みも市民に評価されるには至っていない。	国と地方自治体との役割分担や財源など、地域主権の確立に向けた動きが活発化し、これまで以上に各市町村の自立が求められており、多様化する市民ニーズに対応した行政経営の実現が求められている。長引く景気低迷による税収減や国の制度改正による地方自治体への補助金等の減少など、厳しい地方自治体の財政状況の中、効果的な行政運営ができる制度改革が求められている。	
	市政アンケート結果	財政の健全化・行政改革の推進	
満足度スコア	-6.4% 38 / 49位	重要度	13.7% 7 / 49位

指 標 名	達成度(上段:目標 下段:実績)					備考(他市状況含む)
	H22	H23	H24	H25	H26目標	
「財政の健全化・行政改革の推進」に対する満足度	目標	20%	20%	20%	20%	平成22年度までの市民アンケート項目は「効率的に行政運営が行われるまち」
	実績	-12.2%	-16.3%	-6.4%		
	達成率	— %	— %	— %		
市の行政が効率化されていると感じる市民の割合	目標	—	20%	20%	20%	20%
	実績	—	11.5%	13.3%		
	達成率	— %	— %	— %		
成果指標	目標					
	実績					
	達成率	%	%	%		
成果指標	目標					
	実績					
	達成率	%	%	%		
成果指標	目標					
	実績					
	達成率	%	%	%		

施策の評価	H24までの施策成果(指標目標)達成度	c	a 非常に高い	b やや高い	c やや低い	d 低い
	H25以降の施策成果が向上する可能性	b	a 十分ある	b ある程度ある	c あまりない	d ない
	成果達成度向上可能性の説明	事務事業評価、施策評価、総合計画の実施計画、市政アンケートなどを活用した効果的な行政経営ができる体制づくりを進めており、施策評価により施策目標の達成度の把握を行っている。 市政アンケート結果や施策評価表、総合計画実施計画書を毎年公開しているが、「財政の健全化・行政改革の推進」に対する市民の満足度は低い水準となっている。 今後は、より精度の高い行政経営システムを構築すること、また、職員に行政経営のシステムが浸透してきていることあって、継続して実施することにより、施策の成果は向上していくと考えている。				

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度		平成25年度	平成26年度
		(決算)	(決算)	(予算)	(決算)	(当初予算)	(見込み)
直接事業費	内訳	206	293	306	273	242	5,206
	一般財源	206	293	306	273	242	5,206
	受益者負担 補助金等						
従事者数	正職員	1.70人/年	1.95人/年	1.85人/年	1.85人/年	1.80人/年	2.20人/年
	臨時・嘱託	0.60人/年	0.25人/年	0.25人/年	人/年	人/年	人/年
人件費	正職員	13,005	14,918	14,153	14,153	13,770	16,830
	臨時・嘱託	1,770	738	738			
退職給与引当金		816	936	888	888	864	1,056
トータルコスト		15,797	16,884	16,084	15,314	14,876	23,092

4. 施策の課題

課題	行政評価を実施している目的について、すべての職員に周知できていない。 評価結果を行政経営に反映させるシステムの確実な構築を進めていくとともに、総合計画実現に向けて適正な実施計画を作成するため、行政評価・予算編成と連携した取組みが必要である。
----	---

5. 施策の方向性(課題を解決するための方策)

総合評価	次年度		方針	行政評価・実施計画・予算編成を連動させたマネジメントシステムを確立する。
	1次評価	2次評価		
	B	B		

上記担当部局の1・2次評価をもとに市の全体最適を考慮した行政評価委員会による3次評価結果

行政評価委員会	3次評価	方針	総合評価1次評価及び2次評価の次年度以降方針が、施策の方向性として適当であると判断する。
	B		

【次年度の総合評価】 **A**(取組の強化・推進が必要)、**B**(現行の取組を見直しながら継続的な対応が必要)、**C**(経営資源配分の見直し・削減が必要)

施策を構成する事業の評価

	事務事業名		事務事業名		事務事業名
	担当課		担当課		担当課
1	市政アンケート実施事業	2	第5次総合計画進行管理事業	3	行政評価制度推進事業
	企画政策課		企画政策課		行政改革推進課